

# 市政を問う 一般質問

## 一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をたずねることです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、20人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

(政和)=政和会

(公明)=市議会公明党

(緑ネ)=緑・ネット

(共産)=日本共産党小平市議団

(フォ)=フォーラム小平

## 行政一般

### 地方分権とまちづくり

小林秀雄議員(フォ) ①地方分権に対する受けとめ方は、

②2年間で実現したことは、

③住民との情報共有と企画・運営力を高めていく考えは、

市長 ①地方分権一括法により、地方自治体の自己決定・行財政運営の自由度が拡大されたが、地方自治体の自立のための税財源の充実等や、地域の課題を地域の住民と自治体のみならずから解決していく自治の充実が必要と考える。

②国の制度改正が必要なものは市長会等を通じて要望し、一方で市民参加の推進や自治基本条例づくり等に着手した。

③分権型の市政を実現する上で重要と考えており、今後も充実に努めていく。

### 再び、税制改正に伴う市民負担を軽減できないか

華表 暁議員(共産) ①具体的な緩和施策は、

②介護保険認定を受けている人に対する障害者控除の周知は、

③非課税世帯枠の拡大等、市独自の施策を創設する考えは、

市長 ①明確に負担緩和措置と位置づけていないが、介護保険で食費相当額の助成措置を予定している。

②今後市報への掲載内容の工夫を検討するので、特定の人を対象とした広報は考えていない。

③住民税の賦課は地方税法に定められた範囲で課税権を行使

### 新年度予算、三つの疑問と誤りについて

鴨打喜久男議員(政和) ①新路線のコミュニティバス予算が計上されていない理由は、

②NTT花小金井東社宅の土地購入と、花小金井南市民広場売却の予算計上がない理由は、

③新規事業をもっとふやすべきでは、

市長 ①現在、住民ニーズを調査中なので、当初予算には反映されていない。

②予算編成の時点で計画・方針などが具体化されていなかったためである。

③新規主要事業は平成18年度に比べて大差はない。今後も市民要望を取り入れながら、新規、継続を問わず、市に託された課題に積極的に取り組んでいく。

### 市は、いわゆる天下り禁止条例を制定すべきである

常松大介議員(緑ネ) ①市が契約、または指定管理者とした団体等で市職員の退職者が勤務する団体の数は、また、全契約金額に占める割合は、

②紹介した退職予定者の人数と再就職した人数及び団体数は、

③紹介する場合、どのような条件が付されているか、

④天下り禁止条例を制定する考えはあるか。

市長 ①平成18年度は前者が4団体、後者が2団体である。割

### 自治体における営業部という部署の考え方について

永田政弘議員(政和) ①組織名をつける際の基準は、

②都市経営部を企画政策部に変更した理由は、

③営業部を設置する考えは、

市長 ①市民に業務内容が簡潔に伝わるように設定している。

②市の施策を積極的に押し進めていく組織の機能をわかりやすくするためである。

③市内の特産品や平櫛田中彫刻美術館など、小平市のよさを知ってもらふことの必要性は認識しているが、営業部として新たに組織を設置することは難しい。各部や課が市報やホームページを活用して積極的に情報を発信し、市自体の宣伝効果が高まるよう対応していく。

### 隣接市では小平市よりどのような施策、事業が進んでいるか

佐野郁夫議員(政和) ①隣接市で注目すべき施策は、

②隣接市よりも先駆けて行っている、あるいは隣接市ではまだ行っていない事業は、

市長 ①東大和市の(仮称)総合福祉センターの建設に係る用地買収、東村山市の東村山駅西口地区第一種市街地再開発、東久留米市のイオンショッピングセンターの誘導等がある。

### 住民サービスの向上と職員体制及び職員意識改革について

佐野郁夫議員(政和) ①職員を3、4年で異動させることは、行政サービスの低下を招かないか。専門性の向上が公共サービスの向上につながるのでは、

②能力に応じた給与制度を導入する考えは、

市長 ①同じ職場での長期勤務は専門性の向上等のメリットがあるが、マンネリ化等のデメリットもある。今後も経験年数等のバランスや実務研修等を配慮し、定期の人事異動を行いたい。

②職員は、給与や業績を公正に評価し、給与に連動させる仕組みはやる気を喚起するために必要なもので、新たな給与制度を早期に導入したい。



▶進夜応急診療所 (健康センター内)

### 環境 上下水

立花隆一議員(公明) ①動物と共生する社会の推進について

②災害時における飼育動物などへの対応は、

③飼育者のモラル、マナーに対する現状認識とそれを向上させるための施策は、

市長 ①動物愛護精神の啓発や、ペットを飼う人と飼わない人との相互理解が必要と考えている。

②関係機関と連携して保護、収容を実施するが、法に基づき避難に必要な措置を飼いが行うことが前提になるので、飼いに主として一層の啓発に努めたい。

③畜犬登録時や市報、ホームページで啓発したい。

### 公共施設

花小金井南市民広場の売却について

鳥村速雄議員(政和) ①市民広場不要論の根拠は、

②グリーンロードに隣接しているという点からの位置づけは、

③市民参加と情報公開について、今回の件はどのように整合性を持たせるのか。

教育長 ①NTT花小金井東社宅の土地活用を図る中で移設を考えたものであり、不要とは考えていない。公共施設の全体的な配置は検討課題でもあることから、移転しないこととした。

②過去に事業で活用したこともあるが、市民の自主的な利用が図られる多目的な施設である。

市長 ③跡地活用の対応の中では、そこはないと考えている。

### 花小金井南市民広場は存続すべき

津本裕子議員(公明) ①説明会の位置づけは、

②市が示した方向性の経緯は、

③NTT花小金井東社宅跡地とは別にして考えるべきでは、

教育長 ①1回目は情報提供を、2回目は概要説明を行った。

②NTT花小金井東社宅の土地活用を図る中で、花小金井南中学校に地域開放型体育館を整備し、これに接する位置に市民広場の移転を考えた。

### 防災・安全

同報無線の有効活用による児童の安全対策等について

宮崎照夫議員(政和) ①同報無線の活用状況は、また、制限等はあるか。

②子どもを見守る広報活動の状況はどうなっているか。

③同報無線で見守りの広報を行っている市もあるが、近隣市の状況と今後の活用は、

市長 ①子どもに帰宅を促すための愛のチャイムと防災訓練の開始を周知するサイレンがあるが、活用には制限はない。

教育長 ②職員が、青色回転灯

### 一般質問



▶仲町図書館